

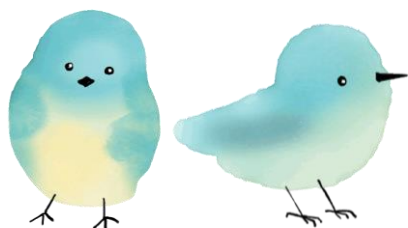
2022年10月2日(日)

14:00~16:00 開場13:30

塩尻市北部交流センター(えんてらす)

1階 101・102会議室

定員/50人(先着順) 参加費/無料



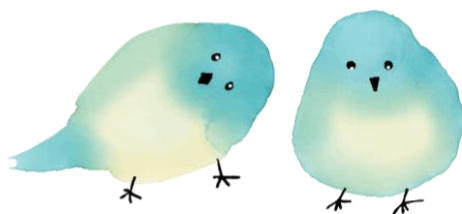
【申し込み】申込開始:9月6日(火)

広丘支所窓口、電話(0263-52-0305)、メールのいずれか。メールの場合は次の内容をお送りください。

宛先 hirooka@city.shiojiri.lg.jp

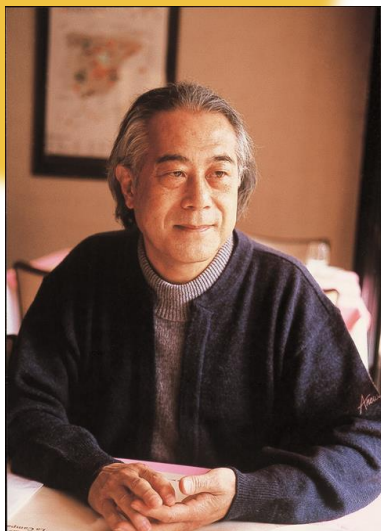
件名 「10/2 本の寺子屋申込」

- 本文
- 1 参加者全員の氏名(フリガナ)
 - 2 代表者電話番号
 - 3 お住まいの地区
 - 4 この講演を知ったきっかけ



童謡詩人、金子みすゞ
—よみがえりの軌跡とまなざし—

〈講師プロフィール〉



矢崎 節夫(やざき せつお)

昭和22(1947)年、東京生まれ。早稲田大学文学部卒業。大学在学中から童謡・童話の世界を志し、童謡詩人佐藤義美、まど・みちおに師事。昭和57(1982)年、童話集『ほしとそらのしたで』(フレーベル館)で、第12回赤い鳥文学賞を受賞。自身の創作活動の傍ら、学生時代に出会った一編の詩に衝撃を受け、その作者である童謡詩人金子みすゞの作品を探し続ける。16年ののち、ついに埋もれていた遺稿を見つけ『金子みすゞ全集』(JULA出版局)として世に出し、以後その作品集の編集・出版に携わっている。『童謡詩人金子みすゞの生涯』(JULA出版局)においては、平成5(1993)年に、日本児童文学学会賞を受賞。長年にわたり、全国各地で講演を行い、金子みすゞの魅力を多くの人々に伝える。また、呼びかけにより、ネパールにみすゞの名前を冠した小学校が建設された。東日本大震災の折には募金活動を行い、岩手・宮城・福島県の3県の小中学校に金子みすゞの詩集を贈るなど、様々な活動を行っている。

平成15(2003)年4月、金子みすゞ記念館(山口県長門市)の館長に就任。平成26(2014)年、長年にわたって「金子みすゞ魅力」に努めた業績と、童謡集『うずまきぎんが』が評価され、第13回童謡文化賞受賞。令和3(2021)年、児童文化功労賞受賞。